

ご提供元： 日本マネジメント総合研究所合同会社

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の難解頻出用語の「実態解明辞典」

著者： 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智憲 (2020年3月26日時点)

【はしがき】

本辞典は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関して、公表・会見される内容にカタカナ用語やわかりにくい用語が乱立しており、頻出の用語に関して実態に即した解説をお届けしつつ、わかりやすく穏やかに理解・整理し直せるよう、独自の視点からまとめたものです。

感染症対策・BCP 対応・リスク管理・危機管理や経営実務面などについての解説 Q&A 集は、弊社の COVID-19 特設ページ(<https://www.jmri.co.jp/covid-19article.html>)をご参照下さい。

なお、COVID-19 の最新動向や公式情報やその詳細等は、必ず、厚生労働省の特設ページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)など、デマに惑わされず公式情報を熟読の上、自己責任で本辞典をご活用頂ければと思います。

【実態解説辞典】

- ・ **オーバーシュート**: ある地域で爆発的に感染者が増えること。(類義語 アウトブレイク)
- ・ **クラスター**: かたまり・集まりといった意味。集団感染といった意味合いを持つ。
- ・ **ロックダウン**: 都市封鎖。強制的に生命維持や緊急対応等を除き、それ以外で外出・往来などを禁止することで爆発的感染等を抑える目的で行うもの。強大な権限の行使で私権を大幅に制限するものであり、慎重な対応やある意味でウイルスより怖い権限の暴走などを透明な意思決定過程で監視する必要があるものでもある。
- ・ **新型コロナウイルス**: 感染者の 80%ほどは比較的元気に各地でウイルスを媒介し、20%ほどは入院が必要なほどダメージを受け、内 5%ほどは発症から数時間で集中治療室にて人工呼吸器や人工心肺をつけないと助からないほど重症化し得るものの、軽く見られがちなウイルス。少なからぬ人々に、14 日間の隔離と風評被害だけが懸念されがちなもの。
- ・ **外出自粛要請**: 強制はしないがなんとなく外出に気がひけるようにして忖度と協力を求めるさま。
- ・ **一大イベントの延期**: ごまかしきれず外堀を埋められて観念するさま。
- ・ **完全な形での開催**: 不完全な対策で失敗するさま。または完璧な苦し紛れの言い訳。

ご提供元： 日本マネジメント総合研究所合同会社

- ・ **エピデミック**: 世界のどこかしら各地でボンボンと感染症が拡大・流行すること。
- ・ **パンデミック**: 感染症の世界的流行のこと。
- ・ **在宅勤務**: 働き方改革であまりにも軽くあしらわれたものの、感染症対策で進めざるを得なくなり、やっと今になってそのメリット・デメリットが把握され愚痴の原因にすらなり得る本来すぐれた勤務形態のひとつ。同一労働同一賃金を誤解して、さぼって成果や生産性を高めなくても「同一(の)労働(時間)」を浪費していても机に向かっていれば「(成果をあげ生産性も高いプロの労働者と)同一(の)賃金(をもらってしかるべし)」と誤解しがちであるが、海外では成果をあげプロとして労働しなければさぼろうが姿勢は真面目に見えてもクビになるため、そもそも、「真面目に在宅勤務・テレワークしているか」と過干渉する必要もない勤務形態でもある。
- ・ **SDGs**: サステイナブル・デベロップメント・ゴールズのこと、国連で2030年に向けて定めた世界共通の17の目標と169の小目標のこと。本来は感染症対策や透明な意思決定機関の形成が重要課題に入っているのに、多くの組織・企業が大して取り組んでなくせに17色のわかかのバッジをつけCSRやIRのレポートを書くだけで、わが社はSDGsができていていると思いつつ、新型コロナウイルス感染症対策はSDGsと別物と捉えられがちなもの。
- ・ **SDGs ウォッシュ**: まるで黒を白と言いくるめ重要問題が満載の書類を漂白剤で真っ白に無かったことにするかのよう、SDGsにさして取り組んでいないのに素晴らしくSDGsに取り組んでいると偽装・喧伝すること。
- ・ **レジリエンス**: 新型コロナウイルス感染症対策とは別物と思われがち、防災/減災/災害対策やBCP(事業継続計画)などの基本である次の3原則を備えたもの(1)ダメージの最小化、(2)早期復旧・回復(3)次を見据えて備えや対策を積み増すこと。夫婦喧嘩でも、回復余地のある限り離婚の危機を回避するため、夫婦喧嘩のダメージを最小化するためにコーヒブレイクなど入れてみて冷静になり、早く仲直りや仲直りの儀式(肩をもんであげるなど)をし、次に同じことがあったら「お互いこうしあっていこうね」と備えるなど。
- ・ **感染症リスク対策**: 空振りで「対策したけど空振りだった」が最上策で、「対策していて助かった」が次善策で、最悪が「対策しておけば良かったのに」と後悔先に立たずであること。
- ・ **トイレトペーパー**: 在庫があって店に届いていないだけで、危機時に株より人気ぐ殺

ご提供元： 日本マネジメント総合研究所合同会社

到しがちなものの、株と同じく魔性のただの紙くず。

- ・ **消毒液:** 500ml ペットボトルとわずかそのキャップ1杯分の漂白剤液(転売や値上げなどがほとんどないもの)と 500ml の水道水があればノロウイルスにも効く強力な次亜塩素酸水の消毒液が作れるのに、ノロウイルスに効かないアルコールを求めてしまう依存性と思考停止がありそうさま。
- ・ **転売ヤー:** 火事場泥棒のような扱いや非難を受けるが当事者は公益性や社会的責任などを度外視して正当な経済活動だと言い切る反社会的とも言えそうな行為者のこと。店舗に入荷されるたびに買い占め、仕手株であるかのように値を吊り上げる脱法行為者をさし得たが、かつては脱法的転売行為者であった者が、今は法整備により違法行為者もしくは転売行為的脱法者といえるもの。
- ・ **正確な感染者数:** 一般人が決してつかみどころのない数値。
- ・ **備蓄:** 問題が発覚・報道などの前から流通過程や店舗運営などに負担がかからないよう、計画的に危機を見据えて買い備えること。
- ・ **買い占め・買いだめ:** 問題が報道された後などに備蓄のつもりで買い走ること。
例文「慌てて備蓄のつもりで買い占めに走る金と手間に余裕があるなら、感染症対策に貢献している組織、例えば、国立国際医療研究センター(<https://www.ncgm.go.jp/070/kifu.html>)など買い占め額の1%でも寄付すべきではないか?なあ、そうだよな、マイク」「いいえ、私はスージーです」「そんなホリゾネみたいに教科書っぽく言うなよ、スージー」「いいえ、ホリゾネではなく私の教科書はホライズンでした」
- ・ **クルーズ船の係留:** 導火線に火をつけるようなこと。パンドラの箱をあわてながらバタバタと開けるさま。
- ・ **シウマイ弁当:** 私の愛する食事。また、知らぬ間にどこかに善意が散逸されること。
- ・ **オンライン診療:** そもそも病院に行かず院内感染もしにくい受診形態だが、忘れられたかのような屋気楼的存在。
- ・ **薬局:** 厚労省の通達で特例的に病院に行かなくても病院に電話1本で症状が安定していて病院のOKがもらえた場合は、病院に行かずにお薬をもらえるようにしてくれることになった貴重な拠点。
- ・ **休校:** 長すぎると生徒・園児も保護者もおじいちゃんおばあちゃんも疲れ果てること。

ご提供元： 日本マネジメント総合研究所合同会社

- ・ **卒業式**: 校長と来賓の長くつまらぬ挨拶がなくなれば良いのにと思っていたら、卒業式自体が無くなり紙だけ渡されて春休みを迎える節目のこと。
- ・ **水際対策の強化**: とっくに突破された後の祭りのパフォーマンス。
- ・ **感染症対策のフェーズが変わる**: 水際対策が遅きに失することを自覚し過ちを認めて立て直しを図るさま。
- ・ **パニック**: わからないことやデマに慌てふためくさま。対義語「正しく怖れる」
- ・ **絆**: 一般的には「良き絆」としての温かい心で寄り添い助け合うこと。一部の反社会的「政力」や不祥事体質な組織では「悪しき絆」による共謀・共犯を意味し得ること。
- ・ **笑い**: 抵抗力・免疫力を高める可能性に満ちた自粛やロックダウン時の特効薬。
- ・ **幸せ**: 与えられるものではなく、お互いに寄り添い築き上げていく世界的に今こそ必要な希望の源。外出自粛要請や在宅勤務やロックダウンで、普段どれだけ家庭内や夫婦間でお互いに幸せになりあえる取組みを積み重ねてきたかが判定されること。